

# 重点施策の取組状況について

## 目標1：サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

### 各施策の主な取組実績・成果

施策	主な取組実績・成果
<p>1.豊富な地域資源を活用した仕掛けづくり</p>	<p><u>モデルルートについて、誰もが迷わず、安全安心に走行できるよう充実を図るため</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はじめての人でも迷わず、安心してサイクリングを楽しめるライドプランを2023年度に作成。2024年度は利用者から需要の多いサイクリングルートを新規プランとしてHPへ掲載し、利用者のニーズに応じた案内を実施。(100プランをHPに掲載)</li> <li>● 案内標識については、奥久慈里山ヒルクライムルートにおいてルート沿線における道の駅や観光施設、サイクルサポートステーション等の拠点施設への案内看板(265基)の整備が完了予定。大洗・ひたち海浜シーサイドルートについては、案内看板(122基)の整備計画を検討。</li> </ul> <p><u>豊富な地域資源を生かした体験型ツアーや宿泊滞在につながるイベント等を推進するため</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)アトレが主催するつくば霞ヶ浦りんりんロードを活用したサイクリングイベント「いばらきK1ライド2024」をつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会で支援。(地域の特産品によるおもてなし、サポートライダーの派遣、WEB広報など。)</li> <li>● 海外メディアや旅行会社(台湾、フランス)を招聘し、県内ルート沿線の地域資源を活用したファミツアーを3回催行し、うち1社(台湾)がツアー造成を行う見込み。</li> </ul>



ポータルサイトライドプラン紹介ページ ▲



海外モニターツアーの様子 ▲ ▶



## 目標1：サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

### 各施策の主な取組実績・成果

施策	主な取組実績・成果
2.「つくば霞ヶ浦りんりんロード」のブランドイメージの更なる向上とサイクルツーリズムの全県的な波及	<p><u>つくば霞ヶ浦りんりんロードに県民が愛着を持つことのできるよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 行方市で小中学生を対象とした自転車交通安全教室とサイクリングのイベントを実施予定。</li> <li>● つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線市町村のご当地キャラを活用したNFTスタンプラリーを実施((株)アトレ)。</li> </ul> <p><u>茨城空港周辺や道の駅等のサイクリング拠点化に向け</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 茨城空港ホームページに「MY自転車で行くつくば霞ヶ浦りんりんロードへ」を掲載し、就航先のサイクリストへ空港発のサイクリングをPR。</li> <li>● 茨城空港近接の「空の駅そ・ら・ら」において、サイクリング拠点施設として必要な(シャワー、レンタサイクル、手荷物配送、サイクルラックの設置等)を満たす施設の整備を補助、支援。</li> </ul>
3.サイクリング情報の効果的な発信	<p><u>県内の最新サイクリング情報について、発信力の充実、強化を図るため</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビや新聞など各種メディアへの情報提供を行うとともに、SNSでの発信やいばキラTVでの動画配信など、各種広報媒体を活用したPRを実施した。</li> <li>● 県の外国語版観光ホームページやSNS(Facebook、Instagram、X等)による情報発信を実施。</li> </ul>



◀ 行方市で実施予定の自転車交通安全教室

### 2. 이바라키 사이클링 추천!

여름 더위가 한풀 꺾이고, 야외 액티비티하기 딱 좋은 계절이 찾아왔습니다. 이바라키현의 야외 액티비티로는 골프가 유명하지만 가을에는 사이클링도 추천드리고 싶습니다. 초보자부터 상급자까지 즐길 수 있는 이바라키현 사이클링 코스를 소개합니다.



◀ 韓国向けメールマガジン(観光誘客課発行)

## 目標1：サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

### 各施策の主な取組実績・成果

施策	主な取組実績・成果
4.誰もがいつでも手軽にサイクリングを楽しめる環境の構築	<p>レンタサイクル等の導入促進と公共交通との接続強化を図るため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● レンタサイクル利用者(サイクリング初心者)向けに自転車の乗り方動画や、レンタサイクル拠点からのライドプランを紹介し誰もが乗りやすい環境整備を進めている。</li> <li>● 鉄道の利用促進に向けて、駅周辺のレンタサイクル情報を収集し、県HPで情報発信を行った。</li> </ul> <p>サイクルトレインやサイクルバスの本格運行を促進するため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● JR水戸支社に対して、サイクルトレインの運行・発着駅の拡充を要望し、水郡線での発着駅の拡充が図られた。</li> <li>● 水郡線全線開通90周年事業の一環として、水郡線サイクルトレインを活用したサポートバス運行を実施し、サイクルトレインに対するニーズ調査を実施した。</li> <li>● 水郡線のサイクルトレイン情報について、県HPやSNSで情報発信を行った。</li> <li>● 6月から定期運航開始した常磐線サイクルトレインについて、JRと連携して、運行記念イベントやインフルエンサーを活用した情報発信等を行った。</li> </ul>
5.安全・安心にサイクリングできる環境の構築	<p>休憩施設やポケットパークの機能充実に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (仮称)田村ポケットパークについて、工事に着手した。</li> <li>● つくば霞ヶ浦りんりんロード休憩所について、独自の賑わい創出等に向けて引き続き利活用を検討する。</li> </ul> <p>サポートライダーを活用した来訪者へのおもてなしや地域の魅力発信のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「おもてなし講座」(8/27、9/11、12/20、1/8実施)にサポートライダーが参加し、観光マイスター等によるおもてなしや地域の魅力についての案内を学び、質の向上を図った。</li> </ul>



◀ 水郡線サイクルトレイン



▲ インフルエンサーによる常磐線サイクルトレインの情報発信

## 目標2：自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間の整備

### 各施策の主な取組実績・成果

施策	主な取組実績・成果
1.自転車ネットワーク路線の計画的な整備推進	<p><u>モデルルート</u>の整備推進と補完のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ルート案内看板や矢羽根等の路面表示について、概成している。</li> <li>● 奥久慈里山ヒルクライムルートについては、ルート沿線における道の駅や観光施設、サイクルサポートステーション等の拠点施設への案内看板(265基)の整備が完了予定。</li> <li>● 大洗・ひたち海浜シーサイドルートについては、ルート沿線における道の駅や観光施設、サイクルサポートステーション等の拠点施設への案内看板(122基)の整備計画を検討した。</li> </ul>
2.新設県管理道路における自転車通行空間整備の推進	<p><u>県で定める自転車通行空間の整備フロー</u>に基づき、整備の推進を図るため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 整備フローに基づき、新設県管理道路について、自転車通行空間の整備を進めている。</li> </ul>
3.市町村における自転車活用推進計画及び自転車ネットワーク計画の策定支援	<p><u>市町村版自転車活用推進計画(ネットワーク計画含む)の策定</u>のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土浦市の策定委員会に参画し、令和6年度3月に第2期土浦市自転車のまちづくり構想を策定予定</li> <li>● つくば市の策定委員会に参画し、令和6年度3月につくば市自転車活用推進計画を策定予定。</li> </ul>



▲ 茨城空港-霞ヶ浦間の矢羽根整備



▲各サイクルイングコースのルートサイン

## 目標3：自転車事故のない安全で安心な社会の実現

### 各施策の主な取組実績・成果

施策	主な取組実績・成果
1.多様な交通安全教育の推進	<p>ライフステージ等に応じた自転車安全教育・啓発を推進するため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校や企業等において自転車シミュレーターを活用した交通安全教室を開催した。 ※次項参照</li> <li>● 実車の使用やスケアード・ストレイト教育技法など、各世代のライフステージに応じた交通安全教育を実施</li> </ul>
2.自転車の安全利用の促進	<p>自転車乗車時における適切なヘルメット着用等の意識向上のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 4月の指導主事等研究協議会において、県における推進事項の一つとして自転車乗車時のヘルメット着用を掲げ、各市町村に指導を依頼した。</li> <li>● 茨城放送ラジオ番組「みんなの教育」において自転車乗車時におけるヘルメット着用を心がけるよう呼びかけを行った。(5、6、8、9、11、12、1月)</li> <li>● 各学校において交通安全教室や交通安全講話を実施し、ヘルメット着用の重要性等について繰り返し指導している。</li> </ul> <p>自転車損害賠償保険等への加入促進のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● HPやSNS(県公式Xやインスタグラム)における定期的な情報発信</li> <li>● 県職員向けの自転車保険加入促進のための広報啓発(5月)。</li> </ul>



交通安全県民運動 ▶



◀ ヘルメット着用SNS

自転車損害賠償  
加入促進SNS ▶



▶



## 県の自転車安全教育・啓発の取組み（ライフステージ別）

	幼児	小学生	中学生	高校生	成人			高齢者
					大学生	社会人 (子育て世代)	社会人 (子育て世代以外)	
普及啓発	<p>○関係機関と連携し、学校等で自転車点検整備 ⇒関係機関・団体と連携し、交通安全教室の機会等を活用して自転車安全点検の促進を図った。</p>							
	<p>○「おもいやり運転」について盛り込んだ交通安全啓発チラシの作成、自転車事故防止のための啓発活動 ⇒県HPやSNSを活用し、交通ルールの遵守や思いやり運転、自転車事故防止のための啓発活動を実施した。</p>							
	<p>○県民の自転車損害賠償保険等への加入促進、保険等加入促進のための広報・啓発活動 ⇒・HPへの掲載。 ・SNS(県公式X、Instagram)における定期的な情報発信 ・県広報紙「ひばり4月号」における普及啓発</p>							
	<p>○庁内放送や庁内掲示板などを活用して、交通ルールの遵守を呼びかける広報・啓発活動 ⇒SNS(県公式X)や庁内掲示板を利用し、自転車の安全利用を呼びかける情報を定期的に発信した。</p>							
	<p>○自転車乗車時におけるヘルメット着用に向けた働きかけ ⇒・4月の指導主事等研究協議会において、県における推進事項の一つとして自転車乗車時のヘルメット着用を掲げ、各市町村に指導を依頼した。 ・茨城放送ラジオ番組「みんなの教育」において自転車乗車時におけるヘルメット着用を心がけるよう呼びかけを行った。(5、6、8、9、11、12、1月) ・高校生のヘルメット着用率について調査し、結果と共にチラシを作成し、生徒の一人一台端末への配信や校内掲示に活用できるようにした。 ・各学校において交通安全教室や交通安全講話を実施し、ヘルメット着用の重要性等について繰り返し指導している。</p>							
	<p>○キャンペーンやチラシ等を活用した啓発活動 ⇒・SNSを活用した広報の実施 ・関係機関等と団体等と協力した街頭キャンペーンの実施。 ・県職員向けの自転車の安全利用及び保険加入促進のための広報啓発を実施(5月)。 ・ガールズ&amp;パンツァーとのコラボなど、効果的な広報媒体の活用。</p>							
	<p>○地域交通安全活動推進委員や関係機関等と連携した啓発活動 ⇒・関係機関等と協力し、SNSやメール等を活用した自転車安全利用の呼びかけを定期的に行った。 ・関係機関・団体等と連携した街頭キャンペーン等の実施。</p>							
取締り	<p>○交通取締り ⇒・悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に重点を指向し指導取締りを実施した。 ・自転車の交通違反に対する指導警告件数:5,207件、検挙:52件(令和6年11月末現在)</p>							

※推進担当課：交通総務課、生活文化課、保健体育課

## 目標4：自転車を活用した県民の健康増進と環境対策

### 各施策の主な取組実績・成果

施策	主な取組実績・成果
1.健康増進や環境対策等につながる自転車活用の促進	<p><u>企業の自転車通勤制度導入を促進するため</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 7/23につくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会PR誘客部会を開催し、自転車通勤制度導入促進について会員(企業)に働きかけた。</li> </ul>
2.自転車を活用した健康づくりの有用性の広報啓発	<p><u>県民への自転車活用を普及・啓発するため</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アフターデスティネーションキャンペーンに合わせた事業の一環として、県内ルートを周遊することで県産品等がもらえるキャンペーン「いばらき漫遊ライド2024」を開催し、県内市町村、企業と連携してルートの普及・啓発に取り組んだ。</li> </ul>



▲つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会PR誘客部会の様子



▲「いばらき漫遊ライド2024」チラシ

